



Alma Mater

# SAPIENTIA

## 英知大学同窓会会報

第3号 Mar. 15, 1995

発行：英知大学同窓会  
兵庫県尼崎市若王寺2-18-1  
TEL.& FAX. (06) 498-6258  
発行責任者：野村 裕  
編集：英知大学同窓会総務委員会

## 阪神大震災！！ 本学を襲う！

先日の兵庫県南部地震において不幸にも震災に遇われた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

英知大学でも、教室棟のマリア像が倒れたり、多くの柱や壁に亀裂が入るなどの被害が出ました。また、様々な思い出をお持ちの方も多であろうあの宝ハウスも倒壊しました。周辺地域は、連日報道されているとおりの惨状です。家や家族を亡くされた学生や、卒業生、学校関係者の方々も多くおられる事でしょう。

我々同窓会では少しでも多くの安否、被害状況を知るため、懸命な情報収集に務めております。先日皆様方にお送りした往復葉書もその一環です。

今現在、我々に寄せられた情報では現役学生の死亡はありません。同窓会員では2名の死亡が報告されています。また、同窓会員で被災地に在住されている方も多数おられます。被災地の方々にも一様に葉書や会報はお送りしておりますが、ご本人に届く確立は大いに低くなっていると思われます。被災地に知り合いの方がおられましたら、それらの方の安否情報もお寄せください。

これから先、震災による家庭の経済状態の悪化などから学業を続けることの困難な学生、あらゆる面でお困りの同窓生など、断腸の思いのする報告の集まることが予想されます。それらの方々に対して少しでも力になれるように努力してゆくつもりです。

そのためには多くの予算が必要となります。同窓会の予算は昨年の総会や、会報でも逐一ご報告させて頂いているとおり、日々の活動も制限されるほどに困窮しております。せっかく寄せて頂いた情報や要求に充分なお力

添えができないのが現状です。

そこで同窓会では義援金を募集しております。母校の為、多くの善意が集まることを期待しています。なにとぞよろしくお願いいたします。なお、会計上の事務処理の簡素化のため、宛名が印字されてある左下の番号を必ず振込み用紙にご記入ください。

また、同窓会では安否情報、火災保険相談、法律相談

を文書でのみ受けつけております。同窓会事務局へ郵便またはファックスでお問い合わせください。



### 義援金振込み口座

さくら銀行 船場支店  
普通6753890

英知大学同窓会  
会長 野村 裕 名義

最後になりましたが被災された皆様方が、一日も早く復興されますようにお祈り申し上げます。

### 【安否情報の集計】

被害無し . . . . . 127  
半 壊 . . . . . 75  
全 壊 . . . . . 20  
死 亡 . . . . . 2  
昭和47年英文卒 北川都子さん  
平成 4年英文卒 山野理子さん  
震災により配達不能 . . 6  
(2月末現在・返信228通中)

### 在校生・教職員

死 亡 . . . . . 0  
(家族の死亡) . . . . . 3

### 【被災地在住者数】

神戸 508  
西宮 135  
尼崎 115  
豊中 102  
宝塚 74  
伊丹 64  
明石 60  
川西 58  
芦屋 45  
三木 23  
洲本 3  
津名郡 3



## ご挨拶

今回の阪神大震災で、被害に遭われた同窓会員の皆様には、謹んで、心よりお見舞い申し上げます。当大学の方も、旧館のビルにヒビが入り、使用禁止状態であり、現在、修復中であります。今回の地震は、後になればなる程、被害の大きさに驚いている次第です。私も、被災地を目の当たりにし、他人事とは思えない、何とも言い様のない気持ちであります。

我々、同窓会組織の無力さをも、今回の震災で、まざまざと体験しました。我々、組織として、まず何ができるかを役員で検討した結果、とりあえず、今回の安否情報の収集と、義援金募集を考えました。皆様におかれましては、又義援金かとお思いになるでしょうが、当同窓会も、資金的には、余裕のある状態ではありませんので、あえて、同窓生のご厚意にすがろうと考えました。義援金については、まだ決定しておりませんが、大学側、在校生、同窓会員の皆様に対して、お送りしたいと考えております。早速にお振り込みいただいた方もいらっしゃると思いますが、まだまだ少額でありますので、皆様のお気持ちをお待ちしております。同窓会としまして

も、できる事から一歩ずつ活動してゆきたいと考えておりますので、会員の皆様の御支援をよろしく願いいたします。

又、この阪神大震災のさめやらぬ中、3月20日に卒業式が挙行され、我々にとっては、喜ばしい新同窓会員が入って来ます。年々会員数が、増え続け、未来永劫、存続する同窓会としては、若い力とエネルギーに期待するところが大きであります。

現同窓会員のみならず、これからの新会員の認識と協力・支援なくしては、同窓会組織は存続しません。

これからの若いエネルギーと阪神地区の早急な復旧を期待し、我々役員一同、努力して行きたいと思っております。

会長 野村 裕



同窓会から大学に届けたポリタンク

## 大いに盛り上がる HOME COMING DAY!

平成6年11月3日。活気あふれる現役学生に負けじと、同窓生も数多く母校へと集いました。久しぶりに訪れた母校の懐かしい香の中で旧交を温め、恩師との思い出話に華が咲く姿が学舎のあちこちで見受けられました。

今年も昨年の英知大学開学30周年記念パーティに引き続き、HOME COMING DAY(卒業10周年記念パーティ)が本学食堂を会場として開催されました。総会を終えて次々に会場へと集まった同窓生は会場を訪れた恩師を取り囲み、あるいは久しく会わない友人同士待ち合わせをして、それぞれの楽しみ方で時を過ごしていました。

また、同窓会主催で行なわれたバザーでは同窓会オリジナルの英知ブランドトレーナーが大好評となるなど、学園祭における同窓会の位置付けができあがりつつあります。

「母校に戻るきっかけができた。これからも頑張ってください。」と、我々主催者側には大変ありがたいお声も頂きました。卒業して大学から離れた多忙な日々を送る

内に、どうしても母校との間に目に見えない垣根を作ってしまうがちです。私のようなおじさんが、おばさんがいまさら大学に戻っても仕方がない、と勝手に解釈してしまうのです。決してそうではありません。英知大学はあくまで同窓生にとっては母校なのです。母校に戻り、現役の後輩たちと言葉を交わし、豊富な人生経験を語り、あるいは旧交を温めてこそ母校の発展と自らの開発につながるのです。目に見えない垣根などは存在しません。どうか積極的に母校へと足を運んでください。我々同窓会ではそのような機会を作るべく努力しております。盛況の内に幕を閉じたHOME COMING DAY以外の場所でも同窓生同士の交流が深まりつつあるようです。同日、ESSのOB会、軽音楽部のOB会も開催されました。同窓会ではこのような意欲的な同窓生の集まりに対し、僅かではありますが力添えをさせて頂きました。これからも同窓生同士の積極的な交流には援助をしていくつもりです。



## こけても立ち上がり、 ぶつかっても乗り越える！

就職課長 須澤 晃

シェスタコピッチ作曲「革命」第三楽章の冒頭。オーケストラのメンバー達は、第2楽章の余韻から、いっきに劇的なドラマへと切り替えようと、静かに息をこらし、気持ちの統一を図っていた。一番奥のティンパニの上は実に平和な静粛であった。にわかに、唸りはじめ、・・・一撃。バーン。

生まれてこの方、こんなに遠くから、こんなに広く、そしてこんなに大きな”音”は初めて聞く。この世のものとは思えぬ・・・。

その後グラグラ、グラグラと大きく左右に揺れる。「大変だ。地震だ。それとんでもない地震だ」「いや、夢だ、すぐ終わる」

いっこうにおさまらない。ほんの一瞬のはずなのに。ガラガラ、メリメリ、ガチャーンあらゆる音がする。次の瞬間、ドドーンと再び大きな音とともに、私の体はベッドから振り落とされた。

もうすでに、シンフォニーは指揮者の手を離れ、われさきにと、したい放題であった。不協和音の連続。革命は、暴徒と化していたようだ。

立ち上がらねば、子供たちは・・・、早く逃げねば・・・。

立てない。真っ暗で、実に静かだ。奇妙だ。本、小物、食べ物、衣類、額などの上に投げ出されている。何とか立ち上がっても、まっすぐに立てない。やっとの思いで立ち、私の部屋を出るやいきなり冷蔵庫のようなものが立ちふさがり、足下は、あらゆるものが散乱している。

「あ、傾いている。すべてが傾いてるようだ」

ありったけの声で「みつひろー。みかー。だいじょうぶか」叫んでみる。二度か、三度か。

「お父ーさん。こわいよー。はやくきてー」脅えているが、元気に応えが帰ってきた。「私も怖い」

「どこも痛くないか、布団をかぶってじっとしていなさい」

「お母さん、芳恵。お母さん、大丈夫か」返事がない。かすかに「ウーウー」。妻の部屋に入ろうとするが、ものが立ちふさがり、入れない。タンスが倒れて妻は下敷きのようだ。やっとの思いで体をこじいれ、タンスを起こそうとするが、上がらない。重い。なんと重い。抜け出すのに10分位もかかったようだ。

真っ暗の中、手元のものを着せ、出ようとするが、ガラスを踏んで、激痛が走る。本を撒きながら手探りで適当に靴を、子供に渡し、やっとの思いで玄関口へ。

「リリーン」電話がなる。

「え、電話が、なぜ。誰だこんな時間に。誰だ。」

少し戻り受話器を取る。「オーイ、晃、大丈夫か」父の

声だ小さな弱々しい声だ。恐怖の中での声だ。

「なんとか・・・、すぐそっちへ行くから」

鐵の扉はすぐに開き、真っ暗な。空に星が見えた。

静かだ。夢だよ。これは・・・。

「須澤さん、すぐに飛び降りてください。ここから」

「え、飛び降りる・・・。」

「あ、二階の私の家から一階へと下りる階段がない。」手すりにまたがり、子供の襟首をつかみ、下の人に受け取ってもらう。二人を降ろし、妻と私は柱づたいに地上にやっとおりた。

七、八人の人たちが静かに黙って茫然と立っている。

懐中電灯で照らし出されたあたりは、二階家屋がほとんどつぶれている。一階がない。

とんでもない地震がきたもんだ。

「夢であって欲しい」。今、醒めてほしい。

みんなが、じっと見つめる方を見る。

「あ、一階がない。駐車場であった一階がない。三メートルばかり落ちたのだ。二度目のドーンという音は、これだ。おまけに南へ大きく傾いている。」

とにかく、父の家に行こう。三〇〇メートルほど先だ。歩き始めると、少し遠くで火の手が上がっている。つぶれた家が道をふさいでいる。

「おーい、たすけてくれー」「手をかしてくれ」・・・かすかに聞こえるが、「ごめんなさい」今は、とにかく家族を両親の家に連れてゆこう。

夢から醒めることなく、一ヶ月が過ぎ、避難所生活もまもなく終えることができそうである。

毎日、4回生の残る最後の就職活動に、3回生の山場を目前に、必死である。ひっきりなしに面談希望があり、就職難に震災後遺症が追い打ちをかけ、彼らの危機感と緊張感は、一層激しさを増している。

被災地の学生も多く、全壊・半壊・避難所生活といずれも、満足な環境ではないにもかかわらず、就職活動に懸命に立ち上がり、乗り越えようと頑張っている。

私も負けてはおれず、全壊したマンションに別れを告げ、心機一転再出発をいたします。

在校生も学校の懸命に復興に向け頑張っております。近い将来、再び明るい再会があることと存じます。

震災の被害にあわれた卒業生の皆さまには、

心からお見舞いをもうしあげます。

ご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。



学生課、就職課などもプレハブで再出発！



# 決 算 報 告

94年11月3日の総会の結果、94年度決算報告及び95年度予算案、事業計画が賛成多数で下記のように決まりました。

1994年度 英知大学同窓会決算報告書 (1993年10月1日～1994年9月30日)		
【収入の部】		
費 目	金	額
前年度繰越金	9,402,403	
同窓会会費	2,590,000	
受取利息	40,723	
返却金	1,025,390	
雑収入	400,020	
合 計	13,458,536	
【支出の部】		
費 目	金	額
配布金（関東支部）	200,618	
寄付	1,000,000	
機関誌発行費	1,586,895	
献花費及び記念品費	29,500	
大学祭実行委員会助成費	30,000	
会員名簿システム化 及び追補版作成費	896,718	
総会費	302,058	
事務所維持費	53,238	
郵送費	1,617,574	
公認会計士報酬費	50,000	
会議費	165,789	
雑費	70,964	
予備費	50,000	
合 計	6,053,354	

1995年度 英知大学同窓会予算案 (1994年10月1日～1995年9月30日)		
【収入の部】		
費 目	金	額
前年度繰越金	7,405,182	
同窓会会費	2,600,000	
受取利息	40,000	
合 計	10,045,182	
【支出の部】		
費 目	予	算
配布金（関東支部）	350,000	
機関誌発行費	450,000	
献花費及び記念品費	60,000	
OBクラブ開催費	500,000	
大学祭実行委員会助成費	50,000	
クラブ活動助成費	200,000	
会員名簿システム化	2,000,000	
名簿追補版作成費	200,000	
総会費	500,000	
郵送費	1,300,000	
仮事務局維持費	350,000	
会議費	200,000	
公認会計士報酬費	100,000	
西文科記念行事助成費	300,000	
雑費	100,000	
予備費	200,000	
合 計	6,860,000	

## 1995年度 英知大学同窓会 事業計画案

1. 卒業式への献花及び卒業生への祝辞、記念品の贈呈
2. 入学式への献花
3. 同窓会組織の充実  
関東支部、長期計画委員会、事業委員会、組織委員会、総務委員会（広報委員会）、代議員（各学年、各クラス世話役）、仮事務局、大学側との懇談会、総会の開催
4. 会員名簿管理のシステム化  
会員相互の連絡網の整備
5. 同窓会年会報の発行
6. 収益事業の模索  
保険事業、商品事業、サービス事業、研修・セミナー事業、英知ファミリー事業、人材派遣事業
7. 会則の見直し
8. 同窓会費、年会費、及び徴収方法の再検討
9. Home Coming Day のイベント企画
10. 英知大学同窓会関東支部の充実と交流
11. 大学卒業生への就職協力  
(就職課とのタイアップ)
12. 英知大学祭実行委員会への助成金
13. 大学クラブ活動の活性化への援助
14. 西文科記念事業への助成

## 同窓会からのお願い

新しく同窓会会員になれる方の中でまだ同窓会費を収めていない方、あるいは卒業されて同窓会費をまだ収めていない方は速やかに会費の振込みをお願いいたします。

同窓会の会費は各クラブへの援助金や、卒業生への就職協力、会報発行、また今回のような災害時における援助、その他さまざまな同窓会活動の大切な資金となります。もし、会費が十分に集まらなければ活動を縮小せざるを得ません。我々の活動の縮小は大学の発展にも大きな悪影響をもたらします。それを避けるためにも一人一人の協力が不可欠なのです。なにとぞ同窓会活動にご理解を頂き、支えてくださるようお願い致します。

なお、同窓会費徴収の事務手続きを簡素かつ確実なものとするため、振込み用紙に学生番号、あるいは会報などが送られてくる際の宛名書き下部の整理番号を必ずお書き添え下さい。

また、組織の充実を図るために、代議員を募集いたします。お手伝いいただける方の応募をお待ちします。



# 名簿整理にご協力下さい

昨年度より、同窓会の最優先事項として名簿の整理を続けています。今回の災害時にも「名簿」の重要性が再認識されました。

事務局として整理途中のデータをお知らせして、ご協力を仰ぐべきかどうか議論のあるところですが、何分にも時間の掛かる作業ですので、情報提供していただきながら、鋭意整理をして参りたいと考えています。是非、是非ご協力の程お願いいたします。

お知り合いの方の住所がお分かりの方は、先日の安否情報のハガキ等を利用いただき、お知らせ下さい。

なお、毎回かなりの数の「転居先不明で配達できません」、「転送期間経過のためお返しします」のスタンプを押されたハガキが戻って参ります。同窓会ではトレースの方法がなく、住所不明として処理する以外ありません。住所変更通知は、必ず、同窓会へもお出し下さいますようお願いいたします。

データは、旧姓、氏名、整理番号の順です。(平成7年1月末現在のデータです。)

## 住所不明者リスト

1964年(昭和39年)	磯井 くみ子 100	浜崎 義行 248	広石 順一 415
宗教科	村上 美奈子 109	岩田 熊田 百合子 253	梶谷 矢代 秀明 419
福田 幸子 1	野中 臣子 112	加藤 Shepard 佐世子 257	森沢 正文 426
桑原 洋子 4	大房 邦子 113	永田 惟孝 262	野口 宗孝 434
溝邊 律子 7	内田 陽子 118	中町 加藤 博子 264	小川 広 435
	永井 信子 119	坂上 悦子 269	内海 美佐子 444
1965年(昭和40年)	英文科	田中 栄一 271	梅津 中山 貴子 446
宗教科	林 新井 順子 128	山内 清弘 277	吉田 知世子 449
宮崎 後藤 ミエ子 17	生田 一紀 129	横倉 道子 278	吉田 徹也 450
高木 天津子 18	石橋 昭夫 131	北山 博三 280	吉岡 三男 451
	磯部 俊一 133	山中 一弘 281	
1966年(昭和41年)	金本 トキコ 134	後藤 邦夫 282	1972年(昭和47年)
宗教科	汾陽 山村 遊美 135	イスペインア文学科	宗教科
村上 皆福 暁子 27	河村 周一郎 137	浅野 信彰 283	伊勢嶋 靖子 456
中江 小川 信子 28	小池 邦雄 139	平井 誠一 287	川島 淑子 459
中川 多美子 29	前川 徳田 光子 141	岸田 進 294	英文文学科
八木 恭子 31	沼田 山口 真弓 147	宮崎 正己 299	浅田 大飼 満 469
	佐伯 寿三 148	永沢 知代 301	春名 中村 滋子 471
1967年(昭和42年)	螺良 英子 156	滝本 勇策 309	平島 伸幸 472
宗教科	イスペインア文学科	立岡 昭夫 310	広田 良尚 473
金光 美代 35	日高 久明 158	寺岡 光雄 311	石原 章功 475
永富 美香 40	堀江 民生 160	涌島 保二郎 314	森 栄子 483
山越 芳枝 45	木南 清 163	渡辺 拓元 315	金 潤子 484
神学部神学科	黒田 町子 164	川崎 勝 319	西川 寛 488
鈴木 頼彦 50	越知 雛子 165	芳村 久子 320	小倉 明子 489
山内 幸子 53	西川 敏彦 169		鬼塚 土居 真知子 490
文学部神学科	酒井 マリ子 170	1971年(昭和46年)	生野 雅子 493
須田 善治 59	塩谷 佳世子 173	神学科	隅谷 尾形 紀子 495
		長嶺 和子 329	竹内 秀曜 499
1968年(昭和43年)	1970年(昭和45年)	田中 洋子 332	巽 俊二 501
宗教科	宗教科	広渡 チヨ子 334	山下 大賀 恵子 505
奥谷 朔代 61	清野 文江 180	英文文学科	保田 一芳 506
英文科	小地 ちづ子 181	石原 素直 342	荒木 和雄 508
阿蘇 正彦 71	津田 カヅ子 188	磯田 直俊 344	小林 ひろみ 509
山本 恵章 72	神学科	伊藤 隆允 345	渡辺 英和 510
橋本 晴彦 73	秋山 典子 190	川隅 富一郎 347	矢野 一 511
平田 清治 75	江頭 上田 都子 200	下出 久美 359	秋間 桑本 博子 512
井貝 祐子 77	寺原 律男 201	深沢 照佳 373	畑中 真澄 514
笠原 邦夫 78	英文文学科	一角 稲田 澄子 377	広浜 保昭 515
黒崎 青山 和子 81	赤木 弘之 204	石川 合田 祥子 381	井上 中台 慶子 517
新納 晃重 83	藤井 克子 206	井辻 佐藤 真理 383	伊藤 井上 雅子 519
大滝 今村 幸代 86	池尻 良一 209	牧野 克巳 385	喜多 久美子 522
大田 光晚 87	小嶋 重男 216	牧場 雅文 386	八木 高島 千佳子 527
高崎 清春 90	水谷内 末棟 ミユキ 220	水谷 公照 388	三方 充 528
田中 古道 福江 92	武者 吉田 由理子 222	中川 英子 401	村上 石原 真由美 531
	納 松井 洋子 227	田中 北山 幸能 402	長野 光夫 532
1969年(昭和44年)	坂本 隆康 228	友金 孝介 405	(正常) 大友 裕喜宏 537
宗教科	下里 LEE 綾子 233	湯浅 宮田 育子 410	田川 昭義 541
原田 智子 97	鈴木 宏枝 235	景山 弘二 411	玉手 健裕 544
長谷川 桂子 98	寺井 里見 敦子 240	イスペインア文学科	谷岡 輝子 546
菱田 輝克 99	榎本 緋呂美 246	福井 上田 昭子 414	守屋 昭 548



英賀 京介 549	西岡 公代 726	木村 隆正 903	津田 安東 美喜子 1069
田中 裕純 551	浜田 薫 729	フランス文学科	永田 真紀 1074
東野 賢一 552	藤原 保則 732	江口 彰子 907	
イスパニア文学科	水谷 喜美子 734	大谷 芳枝 909	1976年(昭和51年)
江見 年男 553	宮田 猛 735	高 仁淑 911	神学科
藤井 小林 七生 554	柳瀬 隆男 738	小林 理通子 912	丸山 秀夫 1076
広瀬 奏 与詩美 558	フランス文学科	古中 秀之 913	大井 明 1078
国分寺 純一 562	明壁 野田 洋子 745	高島 哲郎 916	森津 中岡 美千代 1080
山下 万里子 564	井上 武 748	浜田 嘉昭 925	英文文学科
松下 神戸 順子 565	大石 関川 千恵 751	松村 久隆 926	江原 しのぶ 1083
村上 秀夫 567	大浜 洋 752	葦刈 利恵 929	堀越 宇野 美保子 1087
中瀬 弘 568	岡崎 新 753	秋沢 行友 930	井上 孝寛 1088
高谷 広信 570	木浦 鬼沢 国枝 755	大上 留利子 931	伊礼門 啓子 1089
坂本 大橋 康子 572	笹谷 許支 759	福原 隆 932	小山 範子 1094
山田 美幸 576	平島 康利 766		永田 佳子 1100
今田 萬谷 清美 579	福岡 武内 百合子 767	1975年(昭和50年)	奥田 増木 美栄子 1103
フランス文学科	的場 好美 769	英文文学科	下田 宏子 1108
遠藤 二宮 初子 585	森 森脇 ちえ子 771	有吉 雄治 937	篠木 明彦 1109
鹿島光子 川村 未津子 587	山田 高島 紀 774	藤井 小松 三代 939	武永 北川 登紀江 1112
小段 能理子 588	明山 恵美 777	小松 広良 949	上本 北野 博子 1114
森田 市野 栄子 592	吉崎 啓介 779	三木 努 952	渡辺 俊之助 1115
西口 西庄 登久子 594		奥田 久磨 959	山本 恒嗣 1116
尾形 文雄 595	1974年(昭和49年)	武智 佐賀 宏子 960	山本 真規子 1117
下山 みどり 597	宗教科	酒井 桑原 利子 961	米田 小間 純子 1119
田中 敬子 599	三枝 千枝子 785	竹本 本泉 康子 966	藤井 健司 1125
寺坂 康孝 600	英文文学科	山本 太 969	一角 英樹 1128
津田 中田 博子 602	赤松 西口 都宜子 798	山本 松井 美知子 970	稲田 三千代 1129
桑田 上田 純子 604	石井 泰博 800	吉川 牧夫 972	乾 矢上 宏子 1130
出口 純子 605	河合 純子 803	馬郡 嘉仁 975	川崎 勲 1133
小林 ぶさえ 606	九谷 裕子 806	川手 裕 977	木谷 隆 1136
	小山 小松 大 808	中村 敏 978	三浦 由加里 1138
1973年(昭和48年)	西尾 裕子 809	朴 秀美 980	永淵 礼子 1143
宗教科	坂本 政信 810	福前 杉下 直美 981	中山 藤井 由紀子 1144
脇山 ミネ子 614	杉田 勇治 812	浜田 花輪 悦子 982	杉田 高畑 純子 1150
神学科	瀬戸田 育子 814	函々 寺西 正子 987	竹中 保 1151
木村 千晶 616	武田 哲 817	国分寺 隆 989	富田 芳郎 1154
高橋 聖一 618	夏川 中元 裕美子 822	小西 川上 さわ子 990	和田 都志子 1156
風戸 義雄 620	林 悦子 824	松岡 昇峰 992	山中 田村 三枝子 1159
英文文学科	港 吉弘 827	森 良治 994	保田 浩司 1160
浅田 俊文 629	谷川 寿男 831	中川 洋 999	田邊 泰信 1165
生田 茅野 美咲子 630	浅川 武 832	西村 三田 安希子 1000	紙谷 紀久雄 1167
入江 英美 634	家本 中島 晶子 834	田原 新甫 有子 1005	イスパニア文学科
雲林院 新谷 貴子 636	大田 孝子 838	高岡 健二 1006	浅野 光子 1168
大下 森田 泰子 637	川上 袴田 真里子 841	吉田 義久 1012	近沢 秀憲 1169
岡村 達子 638	北川 順雄 843	イスパニア文学科	林 和彦 1173
杉本 純一 646	木村 順一 844	阿野 守 1016	細原 八木 悦子 1174
西本 百合子 653	駒ヶ嶺 砂川 万里子 845	市川 南井 陽子 1019	池田 典夫 1175
浜田 塩越 和子 654	斉藤 正明 846	籠島 清子 1023	木藤 直樹 1176
宮崎 泰和 660	竹本 義則 851	松谷 田渕 富雪 1028	水木 雅之 1180
八木 英世 661	法島 邦夫 858	三栗 茂裕 1029	村上 安藤 博美 1181
吉田 千百子 663	前田 茂 861	長嶺 汝賢 1032	塩井 梅本 加夜子 1182
伊井 雅美 666	真島 原 美由紀 862	中谷 公美子 1033	谷口 木ノ原 順子 1185
磯野 渡辺 貴美子 669	吉井 達郎 866	大城 進逸 1038	内田 池田 貞子 1187
上溝 宗夫 671	渡辺 伸 867	高田 敏彦 1041	山本 小嶋 美智子 1188
内田 多田 キヌヨ 672	中野 利和 870	梅本 晃市 1045	フランス文学科
小川 和子 675	イスパニア文学科	ヤング・トッコ・アイリーニ	有明 遠藤 美枝子 1190
木戸 関江 ミヤ子 678	門脇 幹雄 874	安川 上杉 信子 1047	早川 小野 淳子 1194
新開 富久代 681	宏一郎 小島 功 877	今井 謙之 1048	景山 山本 千佳子 1195
中尾 哲夫 687	小松 賢二 878	大林 義雄 1049	河内 昌明 1198
西田 時信 689	東元 田村 弘子 885	影沼沢 仁 1050	中井 謙治 1204
平野 大塚 佳子 691	深堀 杉本 明子 886	フランス文学科	友広 大竹 紀子 1214
大平 策司 692	福留 鳥田 雪子 887	福島 経英 1053	上田 萬美 1215
山本 善一郎 701	藤原 敏明 888	池田 繁 1054	高橋 秀行 1219
浅田 隆久 702	前田 萬木 真理 889	稲野 幸則 1055	中村 昭一 1220
中村 文衛 703	松林 和昭 892	家間 上田 澄子 1057	
鹿島 幸二 704	松原 進 893	前田 洋 1058	1977年(昭和52年)
イスパニア文学科	松元 西田 衣子 894	中島 法実 1060	神学科
牛久保 文子 710	渡辺 若尾 倫子 897	岡部 良文 1063	森川 美代子 1226
筒井 恭二 721	市村 高橋 悦子 898	宗円 理恵 1066	篠原 克政 1228
成田 有馬 須恵美 724	竹内 章 901	田村 田中 玲子 1068	



勝部 卿子 1230	梶谷 義文 1403	1979年(昭和54年)	遠藤 小野里いづみ 1753
英文学科	(宣正) 小出 武永 1405		喜多 恒夫 1760
荒川 桜木 智恵子 1234	松原 孝夫 1407	神学科	小西 健一 1762
淡野 駒田 陽子 1235	水野 修 1409	中村 純子 1584	前橋 ひとみ 1763
江波 史郎 1236	森 村上 芳子 1410	山田 光治 1586	松崎 久保 典子 1765
藤田 片岡 紀子 1237	大汐 次郎 1414	英文学科	美見 智子 1767
後上 治子 1238	佐々木 吉田 邦子 1416	足立 井之口 正美 1587	宮川 富男 1768
原田 賢司 1240	吉田 宏司 1424	延東 尾崎 佳代子 1589	小笠原 章三 1773
原見 宮本 恵子 1241	米田 文洋 1428	深井 岩井田 恵子 1591	菅野 寿一 1777
泰富美恵 安福 ふみえ 1242	岸上 総治 1435	細川郁子 平越 一久子 1594	田中明美 稲垣あゆ美 1778
駒田 哲男 1248	松本 安弘 1440	池本 田中 志津子 1596	田中 秀典 1779
前田 今村 知里 1251	水谷 片山 須恵子 1441	地家 岸田 晶子 1600	宮川 政之 1787
宮前 富岡 るみ 1254	森崎 文子 1442	岸 祭田 葉子 1603	矢野 照也 1790
村島 裕男 1255	中川 恵子 1444	宮沢 岡崎 裕美 1608	榎本 藤原 千鶴子 1791
中島 久住 真由美 1257	佐久間 輝之 1450	森本 久美子 1609	
中村 栄治 1258	佐貫 真理 1451	森崎 北谷 敦子 1610	1980年(昭和55年)
西 富士 とし子 1261	新保 良輔 1452	野崎 清美 1612	神学科
音野 堂脇 由美 1264	東城 上村 のり子 1455	三枝 克弥 1614	熊岡 三谷 順子 1794
鹿嶽 土谷 洋子 1265	山本 鈴木 和枝 1458	白波瀬 一人 1615	篠原 康二 1795
菅 竹島 優子 1267	山南 茂 1459	寺田 若生 京子 1620	田中 宏之 1797
増木 重夫 1276	野村 元久 1464	徳橋 知子 1621	英文学科
藤井 いづみ 1278	福田 至喜 1466	広田 剛 1625	浜崎 正敏 1803
福尾 進藤 敏子 1279	小出 佳世 1467	綾部 小林 千秋 1628	市岡 晴輝 1806
二見 洋子 1280	花谷 英美 1470	藤井 大東 年子 1630	上念 靖明 1810
橋本 晴美 1282	井上 喜美子 1474	秦 宮木 智子 1633	壁内 沖野 照美 1811
細川 梶谷 洋子 1284	門岡 豊子 1475	木下 福永 葉子 1639	片山 司 1814
岩田 中村 文子 1286	丸沢 博行 1477	松岡 小原 慶三 1642	加藤 小栗 智子 1815
久保田 中川 頼子 1289	中島 北野 千春 1484	河野 幸一 1643	木崎 隆嘉 1816
三沢 くるみ 1294	中村 松岡 好美 1485	雨水 由紀 1646	小西 和彦 1819
佐藤 周造 1297	大島 幸久 1487	宮本 尚美 1648	三谷 和義 1824
成田 渡辺 由紀子 1298	谷畑 信藤 ひとみ 1492	大城 房子 1650	村田 隆一 1826
大西 勝 1302	鶴田 高明 1493	高雄 植村 淳子 1656	澤江 孝夫 1836
相良 千恵子 1303	山本 裕司 1494	田中 藍木 史子 1658	民田 美子 1839
坪谷 久永 多見子 1309	柳川 純一 1495	柴山 博邦 1663	田中 香代子 1840
内海 松浦 敦子 1311	脇 富士夫 1496	原田 芳之 1665	土山 真弓 1843
羅 光雄 1316	下靴 信五郎 1497	東 敏春 1669	大村 博子 1846
安部 薫 1317	イスパニア文学科	藤原 貴代美 1671	許 公亮 1848
三浦 俊彦 1318	萱島 日高 御苗 1502	中野 雄二 1690	遊佐 正信 1850
イスパニア文学科	池上 通子 1505	中島 田中 静江 1691	陳 曼麗 1852
岩佐 浩一 1327	井上 守 1507	佐野 山田 孝子 1694	福田 良成 1853
牧野 恭三 1331	北谷 俊 1511	田淵 正保 1699	村上 千明 1858
長田 明久 1334	近藤 啓三 1513	高岡 章子 1700	金岡 孝雄 1860
野村 良一 1336	南口 隆 1517	田村 正一 1701	川田 敏子 1863
岡本 恵子 1337	夏本 幹士 1521	上野 大西 由美子 1704	小島 伸子 1866
大西 浦田 久子 1338	奥 直樹 1523	宇沢 吉晃 1705	増田 勝己 1868
佐竹 慶紀 1340	大野 素生 1524	吉井 康子 1709	増田 良治 1869
下靴 ひさよ 1342	下今西 弘 1527	中畑 孝博 1711	佐岡 佐用 京子 1872
橋本 満裕 1348	篠原 一夫 1528	森本 輝彦 1712	森 栄一 1873
フランス文学科	徳永 洋治 1530	イスパニア文学科	西山 陽一 1879
相武 正人 1349	長谷川 勝吉 1534	福田 横田 裕子 1716	田口 英雄 1885
荒川 木部 智子 1352	小林 経夫 1535	若谷 祐一 1717	高橋 義弘 1886
黒田 雅子 1359	フランス文学科	岩崎 伊佐子 1720	上田 明彦 1890
水野 俊治 1365	藤浦 加藤 直美 1542	北野 松下 珠美 1723	梅本 照子 1891
内田 文行 1375	伊賀 純一 1546	松本 清昭 1725	山入 美子 1893
山下 一雄 1381	井之口 哲雄 1547	松本 充博 1726	山本 貴子 1894
近藤 治 1387	片山 博夫 1550	岡本 義弘 1729	鈴木 秀信 1898
松田 桂 1388	熊谷 多賀子 1552	酒井 豊彦 1731	位田 久和 1899
宮澤 俊宣 1389	近藤敦子 天野 あつ子 1553	滝沢 慶子 1733	秋田 佳宣 1901
中村 俊二 1390	貫名 秀光 1556	嶋田 孝一 1734	平岡 恒雄 1907
堀 洋子 1392	坂口 宣子 1559	嶋田 常一 1736	本津 てるみ 1908
1978年(昭和53年)	高安 宏明 1561	高田 玉城 洋子 1737	海見 森水 優恵 1914
英文学科	田中 恵子 1562	高桑 池上 祥江 1738	越山 倭子 1917
朴 杉原 秀子 1397	土肥 松浦 真由美 1563	滝川 秀樹 1740	増田 田井 達子 1920
福元 塩釜 美咲 1398	泊 正司 1564	山本 雅彦 1744	西谷 植田 容子 1926
平手 裕之 1401	柳 上田 郁子 1565	安富 利明 1746	大倉 正晴 1928
堀口 品川 智子 1402	柳 川手 厚子 1567	華山 正市 1749	佐藤 田口 澄子 1929
	箭内 高安 潤子 1568	中西 勇作 1750	八木田 山田 泰子 1937
		フランス文学科	矢野 井下 道子 1941
			川辺 明彦 1944
			花岡 憲二 1946



イスパニア文学科	益住 ゆかり 2161	松井 博之 2379	イスパニア語	イスパニア文学科
新井 春芽 1947	中西 渉 2164	松山 利染 2380	千草 則明 2564	
藤原 貴裕 1951	小川 治男 2165	森 園実 2382	藤江 康宏 2565	
石川 奥 雅子 1954	薄井 剛 2173	中田 善之 2383	小畑 原山 修子 2575	
富田 保司 1955	吉井 弘子 2174	山口 和伸 2390	黒田 勝山 由美子 2577	
小西 冴子 1958	梶原 龍 2176	福沢 尚 2393	増井 紳一郎 2579	
仲井 まゆみ 1960	フランス文学科	村井 郷子 2396	村垣 忠男 2582	
西井 良昭 1962	網中 山本 優子 2177	鈴木 孝之 2398	村山 一利 2583	
大田 福岡 美規子 1964	東浦 英樹 2182	フランス文学科	野口 昌己 2587	
桜井 弘一 1966	保呂 尾形 文子 2183	江藤 和男 2401	津川 雅樹 2593	
篠原 秀宣 1968	乾 弘幸 2185	福井 将博 2404	角田 昌彦 2595	
白井 繁 1969	木村 和子 2186	王 直子 2405	上仲 貴士 2597	
杉田 信彦 1970	永田 陽一郎 2195	市成 瀬戸崎 明美 2409	弓場 上 誠 2599	
杉原 島居 明流 1973	中村 中井 葉子 2196	国米 南中 由美 2410	西川 昇 2602	
横井 阪口 美江子 1978	佐々木 敦子 2201	中森 恵子 2411	フランス語	フランス文学科
秋山 和之 1979	土屋 ひろみ 2205	谷本 育恵 2417	柳田 登志子 2610	
西山 仁 1981	吉田 賢治 2212	富久 恵利 2418	上道 弘志 2612	
久野 真嗣 1982	我部山昭一郎 2214	植本 賀津子 2419	松延 佳代 2616	
松浦 幸代 1983	1982年(昭和57年)	朝倉 克己 2425	中村 伸子 2620	
吉村 己喜雄 1985	神学科	高垣 国次 2426	大島 真一 2622	
フランス文学科	加納 敬子 2218	善元 泰正 2427	田中 基資 2625	
林 大川 京子 1988	真島 勝彦 2221	小松 義治 2631	田中 敦 2627	
石坂 政文 1989	篠原 裕知 2224	1983年(昭和58年)	西野 正晃 2628	
磯田 朋子 1990	秋田 みゑ子 2226	神学科	柳田 伸二 2629	
京谷 長田 ひとみ 1994	佐藤 幸子 2227	増山 智子 2431	林 政彦 2630	
高田 田中 淳子 2004	英文学科	英語英文学科	1984年(昭和59年)	
柳本 渡辺 靖之 2008	荒木 千恵子 2229	林 庸晃 2435	神学科	
谷元 かほる 2012	端野 悦子 2234	池本 浩昭 2436	池島 与跳 2634	
1981年(昭和56年)	平木 巖 2235	小林 郁朗 2439	兼田 聖子 2635	
神学科	石井 幸司 2238	松山 山下 明美 2445	英語英文学科	
木村 啓司 2016	伊藤 大野 敦子 2239	森脇 美穂子 2449	赤穂 孝 2640	
英文学科	栗岡 和彦 2245	中近 直美 2450	朝陽 尚子 2641	
阿部 光子 2019	桑野 真裕美 2246	大森 正 2451	榎村 薫 2643	
茶谷 鷲池 美智子 2020	増田 弘志 2247	阪本 真由美 2453	榎原 安田 紀子 2663	
福島 利江 2023	松本 俊之 2248	田井 智子 2457	田中 武彦 2665	
板倉 洋子 2027	新川 白波 瀬まこと 2262	井上 恵 2459	内田 郁江 2666	
宗接 岸本 信子 2039	美紀 2264	竹村 山上 純子 2467	上野 修也 2667	
中村 公子 2041	上山 若林 和美 2268	山根 繁治 2469	宇野 純司 2668	
岡田 釜塚 厚子 2047	藤田 圭造 2272	小谷 廖 淑子 2471	湯浅 玄信 2670	
山田 亜古 2059	広岡 条二 2273	高松 俊治 2473	泉 史郎 2675	
山口 淳 2060	西本 雅幸 2274	小西 彰 2474	箕浦 誠一 2686	
杉原 宏重 2064	江上 洋子 2276	舟引 英幸 2475	宮後 繁樹 2687	
青木 裕夫 2065	福山 愛一郎 2277	井本 成明 2479	森本 雄二 2691	
赤塚 泉 2066	樋口 昌子 2279	自休 純子 2482	森田 育子 2692	
岩崎 信也 2074	黒田 健 2287	前川 森永 明美 2489	大久保 学 2697	
前野 勉 2081	松村 明美 2289	三原 哲郎 2490	高橋 正治 2703	
村上三左子	難波 由美子 2293	三沢 佐太郎 2491	上田 洋子 2708	
大西 みさこ 2087	仁木 陽二郎 2294	宮本 多田 佳子 2492	山田 勝士 2710	
中村 誠 2088	岡村 佳矢子 2296	西出 村上 裕美 2494	赤松 公子 2718	
西本 郁美 2091	神藤 十世子 2300	坂本 和之 2497	堀井 和子 2720	
関 忠美 2095	鈴木 雅文 2301	坂本 俊人 2498	市井 赤穂 優子 2721	
清水 徹 2105	田中 昭充 2303	高橋 賀光 佐江子 2499	今村 丸山 智子 2722	
安養寺 宏利 2107	和中 克也 2309	上田 中 さとみ 2502	伊藤 千重 2723	
藤澤 俊之 2110	藪内 茂 2311	柳田 永山 真樹子 2504	柿手 孝文 2724	
平松 島田 幸美 2113	出村 小川 厚博 2313	吉龍 朝子 2513	米谷 栄子 2727	
磯野 左代子 2116	長谷川 高野 万希子 2315	都司 慎一 2516	中田 史雄 2736	
西山 安養寺 直子 2130	細川 光裕 2318	秋山 石橋 佳代子 2517	扇 武史 2737	
澤田 和幸 2133	池ノ内 安田 博子 2319	古田 成範 2521	西條 究 2739	
塩見 健一 2135	窪島 喜徳 2325	久米 徹哉 2530	田路 廣野優貴子 2741	
豊蔵 松井 珠美代 2139	岡田 照生 2335	前川 久米 明美 2533	イスパニア語	イスパニア文学科
藤尾 胤敏 2145	王 政夫 2336	丹生谷 正史 2539	古林 マツエ 2748	
宮本 陽一 2146	坂本 博 2338	坂本 恭子 2541	水口 公也 2758	
大島 栄作 2147	菅 和博 2341	玉川 秀司 2548	村田 美枝 2760	
上田 勝紀 2148	田縁 崇 2342	田中 宮垣 通子 2549	野田 ひとみ 2763	
イスパニア文学科	松本 直人 2359	堤 真 2551	佐々木 浅井 玲子 2766	
朝陽 前野 瑠美 2150	イスパニア文学科	梅本 千恵美 2552	高田 笹内 温恵 2769	
平野 美穂 2153	東影 好弘 2362	渡邊 成美 2554	高見 美智子 2770	
伊東 真知子 2155	東野 武郎 2363	山西 紀子 2556	竹川 敏郎 2771	
加藤 牧野 祥子 2158	井上 博光 2367		竹中 賢輔 2772	



筒井 聖健 2776	浅野 豊 3034	木村 利勝 3405	青戸 美香 3874
上田 昭一 2778	藤本 和宏 3035	清本 浩之 3407	金井 清美 3887
上岡 すが子 2780	小林 正人 3036	岡本 彰弘 3417	土井 葉子 3923
芳田 一久 2784	船橋 誠 3037		三橋 かずみ 3935
フランス語フランス文学科	黒岡 純一 3039	1988年(昭和63年)	中森 豊 3938
青柳 敦子 2792	大前 季子 3046	神学科	酒井 剛 3943
草野 康子 2797	山本 竜也 3056	中村 文 3436	廣岡 太郎 3996
三上 律子 2800	吉村 信 3060	英語英文学科	イスパニア語イスパニア文学科
中井 勇吾 2801	小林 靖明 3061	衣川 謙一 3450	車力 慎治 4023
大澤 保松 2804	小竹 芳宏 3062	前田 幸弘 3456	フランス語フランス文学科
赤羽 能孝 2815	西川 芳朗 3067	阪口 次雄 3467	阿部 健二 4045
井関 寿文 2816	河島 みどり 3068	田中 亜由美 3471	石坂 多真美 4052
田中 美恵子 2817	古澤 巖 3073	山南 賢一 3475	西村 周子 4068
西尾 智彦 2819	松井 孝 3078	浜野 貴司 3523	大谷 英代 4073
谷奥 智 2820	大塩 歩 3086	岩打 みどり 3532	
1985年(昭和60年)	大林 敏子 3096	窪 典子 3539	1991年(平成3年)
神学科	井上 実人 3097	中山 利佐 3546	英語英文学科
田中 聖子 2825	二渡 豊 3100	澤田 照美 3555	谷本 知恵子 4114
英語英文学科	野上 勝尚 3102	大熊 裕三 3564	田辺 晃彦 4167
林 美由紀 2830	浅見 郷子 3108	久恒 功裕 3566	米田 山本 麻知子 4173
加藤 温子 2836	黒田 茂雄 3115	イスパニア語イスパニア文学科	吉田 砂織 4174
木下 泰一 2837	日野 徹 3133	港谷 佳世 3584	好美 千賀子 4175
松田 圭治 2845	橋本 精 3141	森 しおり 3585	中川 正之 4179
宮原 雄高 2847	山田 尚紀 3145	車力 理志 3593	穴原 優子 4185
岡田 山崎 敦子 2853	イスパニア語イスパニア文学科	姫坂 靖則 3610	石井 博子 4189
辻井 稔 2857	花岡 雅之 3151	平瀬 孝憲 3616	上西 佳弘 4214
山本 正志 2858	松本 孝介 3165	フランス語フランス文学科	イスパニア語イスパニア文学科
山田 啓治 2862	岡島 木下 さと 3172	伊井 久恵 3619	梅本 英樹 4257
中村 宗嗣 2863	坂元 和仁 3175	井藤 義子 3623	稲越 横山 綾子 4261
塚脇 重幸 2865	綾 敏郎 3184	川口 満喜子 3624	尾崎 弘卓 4267
知識 健一 2866	生駒 晴哉 3186	北埜 孝典 3627	フランス語フランス文学科
藤枝 彩子 2867	久保田 益信 3189	西村 瀬尾 真由美 3632	秋本 久英 4272
藤川 三宅 亜規子 2868	佐々木 薫 3190	佐野 宏有己 3636	松本 一修 4286
畑中 克彦 2873	フランス語フランス文学科	上野 一哉 3640	
前田 輝尚 2880	倉本 寿美男 3198	1989年(平成元年)	1992年(平成4年)
村上 山田 道子 2884	岡田 雅光 3204	神学科	英語英文学科
金 辰錫 2894	山村 和久 3215	高橋 真理 3657	松田 英一 4333
若林 美香 2895	1987年(昭和62年)	清水 健 3660	松本 俊秀 4334
片岡 信 2909	神学科	英語英文学科	森 克也 4337
木村 昌平 2910	伊東 赤堀 恵 3227	中田 晴久 3679	水谷 利紗 4381
大野 昭彦 2938	洪 英憲 3230	坂本 一樹 3686	中山 貴純 4385
杉本 晃一 2939	英語英文学科	横山 かおり 3688	酒井 千晶 4391
山崎 裕立 2943	平尾 純子 3238	吉村 祐邦 3694	イスパニア語イスパニア文学科
羽場 弘志 2945	今西 博之 3240	松岡 みどり 3699	青木 孝能 4450
イスパニア語イスパニア文学科	岩尾 美子 3242	前西 浩二 3703	米田 園子 4496
江口 美智子 2948	田中 眞一 3261	樋上 雅彦 3709	フランス語フランス文学科
北野 久男 2952	植木 キヌ子 3267	増田 清隆 3739	笹尾 育子 4513
三原 木下 容子 2957	和田 由利 3268	松田 渉 3741	1993年(平成5年)
村越 直也 2961	和田 和弘 3271	安東 利哲 3745	英語英文学科
三保 和久 2976	丸山 淳一 3280	橋本 昌二 3748	弓削 秀一 4585
吉野 正和 2979	花房 達也 3283	井久保 右子 3752	浜崎 雅彦 4590
フランス語フランス文学科	原田 昭夫 3285	西木 真理 3760	和崎 英司 4623
細田 真理子 2984	石崎 祐子 3286	イスパニア語イスパニア文学科	高山 繁一 4659
市川 均 2985	多久島 寛孝 3310	倉田 宗典 3796	新宮 照治 4677
岸本 俊秀 2990	藤川 盛光 3319	落合 久子 3803	川村 隆志 4682
小出 真 2993	稲葉 義武 3332	徳田 賀昭 3812	イスパニア語イスパニア文学科
前田 聖子 2994	磯部 かおり 3335	中村 憲司 3827	佐伯 泰子 4707
中井 誠一郎 3003	松宮 和貴 3344	フランス語フランス文学科	竹中 祐己子 4711
大西 弘一 3008	宇野 路浩 3371	毛野 ウッサン弓美子 3840	1994年(平成6年)
鷺田 知子 3009	イスパニア語イスパニア文学科	黒田 玲子 3844	英語英文学科
坂田 敏郎 3012	山野 正雄 3391	太田 健二 3862	木下 和久 4793
高井 秀一郎 3014	森田 浩二 3394	1990年(平成2年)	本成 久仁子 4807
吉田 烏野 尚代 3017	鈴木 隆司 3396	神学科	イスパニア語イスパニア文学科
浜村 祐二 3020	岩垣 一宏 3397	石脇 秀俊 3863	森岡 美絵 4957
1986年(昭和61年)	岸本 暢哉 3398	坂倉 歩 3866	神田 早美 4987
神学科	フランス語フランス文学科	吉川 史郎 3873	
瀬戸 伸明 3027	後藤 昌美 3400	英語英文学科	
英語英文学科	橋田 真澄 3401		
	上総 佳苗 3404		



## 歓迎！！新同窓会会員諸君

(英知大学同窓会関東支部役員一同)

まず初めに、この度の実に痛ましい大震災の犠牲となられたすべての方々に対し、衷心より哀悼の意を表しますと共に、一刻も早い復旧を心から願って止みません。

また、被災された卒業生並びに在校生諸君はもとより、被災されたすべての会員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当然のことかもしれませんが、私達、同窓会関東支部役員全員もまた被災地の出身であり、家族や友人が被災者であったり、また大切な人を失った者もいます。確かに物質的な損失は被りませんでした。故郷から離れ住み、直接の力となれない歯痒さから来る精神的ストレスは私達の心を大きく蝕んでいます。しかし、いつまでも心痛に支配されてはいられません。まずはテーマを変えて、この度新たに同窓会の会員になれる諸君に、一つ為になる話をしましょう。

諸君は卒業したばかりで、きっと同窓会のことなどまだ脳裏にないかもしれません。しかも、学閥がはびこる日本の社会において、私達同窓会が十二分に威力を発揮するという保証はどこにもない、というのが残念ながら率直なところ。しかしながら、母校が設立されてもう既に30年以上の歳月が流れ、卒業生も数千人にも上っています。そして、母校創立当時のパイオニア時代を過ごした世代こそが、今の実社会を実質的に動かしている世代でもあります。そして更に、多くの同窓生がこうしたハンディに負けることなく、つまり学閥に頼れないが故に、逆に一人一人が一匹狼として社会で力強く生きているのも事実です。こうした先輩たちと触れ合うこと、又いい意味で彼等(私達)を利用することができる場、それが同窓会なのです。もっとも、同窓会の意義、或いはその利用価値は人によって異なって当然です。したがって、ややオーバーな表現をすれば、諸君一人一人の参加によって、その可能性が無限に広がっていくのも又同窓会だと言えます。

横のつながりや仲間同士の助け合いの大切さは、今回の大惨事でも改めて認識されました。同窓会は大学の延長線上にはありますが、決して大学の延長ではありません。つまり先輩後輩の関係を維持する場ではなく、あくまでも同じ場で学び、同じ場で青春を謳歌した者同士の

仲間が集まる場なのです。私達の関東支部は、故郷から遠く離れ住むハンディを背負っていることもあってか、より一層この世代間を超越した「仲間意識」が強く、役員会も総会(私達は単に支部会あるいは支部会合と呼んでいます)も、非常に高い参加率を誇っています。そしてこれは、私的な場面でもまた異業種間のビジネス交流等、あらゆる結び付きと拡がりを見せています。

関東支部は、関東一円は基より、東海・中部・東北等の一部をもカバーしています。もし何等かの理由でこれらの地方に移り住むことになったり、或いは就職先を求めているなり、必要な時はいつでも気軽に連絡して下さい。喜んでお手伝い致します。

尚、相談事等の有無にかかわらず、こちら方面に転居される場合(単身赴任も含む)は、必ず同窓会にお知らせ下さい。

同窓会事務局 06-498-6258 (TEL. & FAX.)

同窓会事務局がまとめて連絡をお受けし、関東支部へお取り次ぎ致します。

### 編集後記

役員各々が同窓会活動に慣れ、いよいよ本格的な活動になってきた矢先の地震でありました。

安否確認の返信ハガキでも「対応が遅い」「義援金募集の方法が悪い」等多くのお叱りを受けましたが、我々役員の中にも被災者が多く、人員不足は如何ともしがたいものがあります。今回本紙に記載した住所不明者リストは震災前に集計されたもので、さらに多くの移転先不明者がでることが予想されます。それらを集計するためには、さらに多くの人手が必要となります。ご協力いただける方は、同窓会に気軽にお声をお掛け下さい。

また、安否確認返信ハガキの中には大学がどのような状況になったのか心配する声も多く寄せられました。今回収集した情報を可能な限り記載しましたが、最後に教室棟の現状を写真でお伝えいたします。



同窓会総務委員会

日高順一郎 大月 力【編集協力】井本英樹